

第3期山口県がん対策推進計画に基づく主な取組及び数値目標の状況

第1 がんに関する理解の促進

1 がんに対する正しい知識の普及啓発の充実・強化

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
○がんの予防や早期発見に対する理解の促進 ○がん患者に対する理解の促進	※下記の各取組において実施

2 がん教育の推進

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
○がん対策所管部局と教育委員会の連携によるがん教育の推進（県、市町、教育委員会等） ○学校の教育活動全体を通じたがん教育の実施（県、市町、教育委員会等） ○専門職種との連携によるがん教育の充実（県、市町、教育委員会、学校医、がん拠点病院等、医療機関、医師会、患者団体等）	⇒山口県がん教育推進協議会設置（R元～） ⇒毎年度「がん教育推進地域」を設定し、地域内の「推進校（モデル校）」に外部講師（大学教員、看護師、がん経験者等）を派遣して公開授業や講演会を実施するとともに、地域内の教育関係者向け研修会を開催（R元～） ⇒指導実践事例集を作成し、教育庁ウェブに掲載（R3～） ⇒教育機関（小中高）への外部講師（健康福祉センター職員、医療機関等）派遣 ⇒外部講師拡充に向けた研修会の実施（R4～）

<数値目標の状況>

- ・ 網掛け は、前回協議会資料からの更新箇所
- ・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価
がん教育を実施する県立高等学校の割合（総合的な探求の時間や特別活動等、体育・保健体育科の授業以外での実施）	12.9% [H28(2016)年度]	14.9% [R4(2022)年度]	増やす [R5(2023)年度]	◎
学校が行うがん教育に協力するがん拠点病院等の数	3か所 [H28(2016)年度]	6か所 [R4(2022)年度]	全てのがん拠点病院等 [R5(2023)年度]	○

第2 県民総ぐるみで取り組むがん予防・早期発見の推進

1 生活習慣改善や感染防止等

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
<p>(1) たばこ対策</p> <p>○たばこ対策の一層の充実 (県、市町、医療機関)</p>	<p>⇒「やまぐち健幸アプリ」「健康やまぐちサポートステーション」等により、禁煙支援情報(禁煙外来など)を発信</p> <p>⇒禁煙支援リーフレットを保険者・事業所に配布</p> <p>⇒たばこに関する専門研修を開催し、禁煙指導人材を育成</p> <p>⇒禁煙週間等における普及啓発の実施</p> <p>⇒受動喫煙防止に取り組んでいる企業の「やまぐち健康応援団」「やまぐち健康経営企業」への登録・認定を促進</p>
<p>(2) 生活習慣改善等</p> <p>○生活習慣改善等に関する普及啓発 (県、市町、医療機関、事業者等)</p>	<p>⇒野菜たっぷりメニューの提供や減塩に取り組む施設の「山口健康応援団」への登録促進</p> <p>⇒「健康やまぐちサポートステーション」等を通じた減塩、野菜摂取、運動習慣の普及啓発</p> <p>⇒地域住民への講習会や普及啓発(健幸食生活改善推進プロジェクト)</p> <p>⇒「やまぐち健康経営企業」への食事・運動に関する情報提供</p> <p>⇒「やまぐち健幸アプリ」による運動習慣の定着促進、減塩等に関する情報発信</p> <p>⇒アルコール健康障害に関する県民向けリーフレットの配布</p>
<p>(3) 感染防止等</p> <p>○ウイルスや細菌による感染・発症の予防 (県、市町)</p>	<p>⇒県内医療機関・保健所における肝炎ウイルス無料検査の実施</p> <p>⇒肝炎ウイルス陽性者に対する初回精密検査費用・定期検査費用の助成</p>

<数値目標の状況>

・ 網掛け は、前回協議会資料からの更新箇所
 ・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価
成人喫煙率の減少 (喫煙をやめたい人がやめる) ※「健康やまぐち21計画」から	男性 27.1% 女性 6.9% [H27(2015)年]	男性 26.4% 女性 4.7% [R4(2022)年]	男性 16.4% 女性 1.6% [R4(2022)年度]	○ ○
受動喫煙防止対策を行っていない施設の割合の減少 (保健医療福祉施設・官公庁・店舗 娯楽施設・企業(職域)) ※「健康やまぐち21計画」から 目標値は、計画策定当時の基準値 (H20年度)を基に設定	保健医療福祉施設 3.7% 官公庁 3.0% 店舗娯楽施設 12.7% 企業(職域) 6.2% [H25(2013)年度]	保健医療福祉施設 5.6% 官公庁 2.6% 店舗娯楽施設 13.7% 企業(職域) 6.2% [H30(2018)年度]	保健医療福祉施設 0% 官公庁 0% 店舗娯楽施設 15.4% 企業(職域) 0% [R4(2022)年度]	△
食塩摂取量(成人1人1日あたり) の減少 ※「健康やまぐち21計画」から	男性 10.7g 女性 9.1g [H27(2015)年]	男性 9.5g 女性 8.1g [R4(2022)年]	男性9.0g未満 女性7.5g未満 [R4(2022)年度]	○ ○
野菜摂取量(成人1人1日あたり) の増加 ※「健康やまぐち21計画」から	全ての野菜 291.7g 緑黄色野菜 93.6g [H27(2015)年]	全ての野菜 234.3g 緑黄色野菜 75.7g [R4(2022)年]	全ての野菜 350g以上 緑黄色野菜 120g以上 [R4(2022)年度]	△
果物摂取量(成人1人1日あたり) 100g未満の人の割合の減少 ※「健康やまぐち21計画」から	54.9% [H27(2015)年]	57.1% [R4(2022)年]	30%以下 [R4(2022)年度]	△
運動習慣のある人の増加割合 (30分・週2回の運動を1年以上) ※「健康やまぐち21計画」から	20歳～64歳 男性20.5% 女性17.8% 65歳以上 男性33.8% 女性24.2% [H27(2015)年]	20歳～64歳 男性30.0% 女性20.8% 65歳以上 男性44.4% 女性38.8% [R4(2022)年]	平成22年値より 10%増やす 20歳～64歳 男性 37% 女性 33% 65歳以上 男性 41% 女性 36% [R4(2022)年度]	○ ○ ◎ ◎
生活習慣病のリスクを高める量を飲 酒している者の割合の減少 ※「山口県アルコール健康障害対策 推進計画」から	男性 14.7% 女性 4.4% [H27(2015)年]	男性 12.4% 女性 5.9% [R4(2022)年]	男性 13.0% 女性 減少させる [R3(2021)年度]	◎ △
C型肝炎ウイルス検診受診者の累積 数(県・市町事業の累積)	206,792人 [H28(2016)年度]	250,237人 [R4(2022)年度]	272,000人 [R5(2023)年度]	○

2 がん検診受診率の向上

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
<p>(1) 検診受診の促進</p> <p>○普及啓発・受診勧奨 (県、市町、医療機関等)</p> <p>○職域への普及啓発の強化 (県、市町、職域 (保険者・事業主等)、医療機関)</p> <p>○市町と被用者保険者との連携の促進 (県、市町、保険者)</p> <p>○受診しやすい環境づくり (県、市町、医師会、検診実施機関等)</p> <p>○女性の受診率向上対策の強化 (県、市町、患者会、県民等)</p> <p>(2) がん検診の質の向上</p> <p>○精度管理の徹底 (県、市町)</p>	<p>⇒がん征圧月間(9月)集中キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビなど各種媒体での普及啓発 ・企業等と連携した啓発活動の実施 <p>⇒誘ってがん検診キャンペーン(R元～)</p> <p>[実績]応募者延べ4,786名(R5.3時点)</p> <p>⇒「がん検診県民サポーター」の養成</p> <p>[実績]認定済1,706名(R5.6時点)</p> <p>⇒市町による個別受診勧奨の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者全員に対し勧奨:10市町 ・対象者を限定して勧奨:9市町 <p>⇒市町による未受診者への再勧奨の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再勧奨実施:14市町 <p>⇒「がん検診受診促進連携協定」を締結した企業等と連携し、受診啓発を実施</p> <p>⇒「がん検診受診促進協力事業所」への登録を促進</p> <p>[実績]登録済537事業所(R5.6時点)</p> <p>⇒協会けんぽと連携し、従業員の被扶養者に対して市町がん検診の案内チラシを配布</p> <p>⇒休日・平日夜間がん検診の実施(例年、500名前後が受診)</p> <p>⇒市町がん検診と市町国保の特定健診との「同時受診」の実施(全19市町)</p> <p>⇒ピンクリボン月間(10月)キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や事業所での体験検診(乳がん、子宮頸がん)の実施 ・県内施設でのライトアップ(R4～) <p>⇒各がん部会にて、市町がん検診の実施状況を検証し、必要な技術的助言等を実施</p>

	⇒検診従事者向け講習会を開催 ⇒市町では、国チェックリストを踏まえ、科学的根拠に基づくがん検診を実施
--	---

<数値目標の状況>

・ 網掛けは、前回協議会資料からの更新箇所
・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価		
市町、職域等を含むがん検診受診率 (子宮頸がん、乳がんについては過去2年間の受診率)	胃がん 男性43.5% 女性29.9%	胃がん 男性44.3% 女性28.8%	全ての部位で 50%以上 [R5(2023)年度]	○ △		
	肺がん 男性50.0% 女性37.5%	肺がん 男性51.6% 女性39.0%		◎ ○		
	大腸がん 男性39.1% 女性29.2%	大腸がん 男性43.5% 女性33.0%		○ ○		
	子宮がん 女性37.3%	子宮がん 女性34.9%		△		
	乳がん 女性36.1% [H28(2016)年]	乳がん 女性34.8% [R4(2022)年]		△		
	精密検査受診率(部位別(県平均))	胃がん 男性86.6% 女性94.8%		胃がん 男性95.5% 女性96.3%	全ての部位で 90%以上 [R5(2023)年度]	◎ ◎
		肺がん 男性89.6% 女性93.0%		肺がん 男性86.4% 女性92.6%		△ ◎
		大腸がん 男性75.4% 女性76.5%		大腸がん 男性76.1% 女性79.6%		○ ○
		子宮がん 女性68.5%		子宮がん 女性78.3%		○
		乳がん 女性93.7% [H27(2015)年度]		乳がん 女性92.8% [R3(2021)年]		◎
職域保険者と協定(※)を締結している市町数 ※健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定		3市町 [H28(2016)年度]	19市町 [R4(2022)年度]	19市町 [R5(2023)年度]		◎

第3 患者の視点に立ったがん医療の充実

1 がん拠点病院等

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
○がん拠点病院等の機能強化や各圏域におけるがん医療連携体制の構築	⇒がん拠点病院等の機能強化（医療従事者への専門研修、患者への相談支援、施設・設備の整備）に対する財政支援 ⇒都道府県拠点病院（山口大学）による、県がん診療連携協議会の設置・運営

2 がん治療の質の向上

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
<p>（1）がんの三大治療</p> <p>○質の高いがん治療の提供（大学、がん拠点病院等、各種学会、県等）</p>	⇒各医療機関や関係学会において、低侵襲の術式の普及、治療効果が高く高精度な機器の整備、専門医や専門従事者の育成・確保などを実施
<p>（2）人材育成</p> <p>○がん治療に携わる医療従事者等の育成（大学、がん拠点病院等、各種学会、医療機関、県等）</p>	⇒山口大学による高度ながん専門医の養成（がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン） ⇒各がん拠点病院等による実地研修の実施 ⇒医師修学資金による外科医、放射線科医、病理医の育成支援 ⇒研修受講費の助成による医師、がん認定看護師、専門放射線技師の育成支援
<p>（3）チーム医療</p> <p>○チーム医療体制の強化（がん拠点病院等）</p>	⇒がん拠点病院等によるカンサーボードへの多職種参加等の推進
<p>（4）病理診断</p> <p>○病理診断の体制確保（がん拠点病院等、県）</p>	⇒がん拠点病院等による病理診断の体制確保
<p>（5）地域における医療連携</p> <p>○地域の医療機関等の連携体制の強化（がん拠点病院等、医療機関等）</p>	⇒がん拠点病院等を中心とした、地域のがん医療を担う医療機関相互の連携強化や、医療情報ネットワーク等の利用拡大による患者情報の共有化を推進

<数値目標の状況>

・ **網掛け** は、前回協議会資料からの更新箇所
 ・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価
がん年齢調整死亡率（75歳未満） （人口10万対）	男 102.1 女 58.8 （全国平均 男 95.8 女 58.0） 〔H28(2016)年〕	男 86.4 女 53.6 （全国平均 男 82.4 女 53.6） 〔R3(2021)年度〕	全国平均以下 〔R5(2023)年度〕	○ ○
がん治療認定医人口10万対医師数	9.6人 （全国平均 11.6人） 〔H28(2016)年度〕	11.6人 （全国平均 14.3人） 〔R4(2022)年度〕	全国平均以上 〔R5(2023)年度〕	○
がん認定看護師を配置する拠点病院等の数（放射線療法、化学療法、緩和ケアの3分野全てを配置している病院）	4か所 〔H29(2017)年度〕	4か所 〔R4(2022)年度〕	8か所 〔R5(2023)年度〕	●

3 緩和ケアの推進

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
○緩和ケア提供体制の充実（県、がん拠点病院等、医療機関等）	⇒各がん拠点病院等による緩和ケアチームの整備 ⇒県民向け緩和ケア講演会の開催
○医師等に対する緩和ケア研修の実施（県、がん拠点病院等、医師会）	⇒各がん拠点病院等や県（医師会に委託）による医師向け緩和ケア研修会の開催
○在宅緩和ケアの提供体制の整備（県、がん拠点病院等、医療機関、訪問看護ステーション、調剤薬局、介護関係者等）	⇒圏域ごとに在宅医療・介護に関する協議会を設置し、提供体制の整備を推進
○在宅医療（在宅緩和ケア）・介護サービス関係者に対する研修の実施（県、がん拠点病院等、医師会、医療機関等）	⇒医療従事者や介護職員に対する研修を実施

<数値目標の状況>

・ **網掛け** は、前回協議会資料からの更新箇所
 ・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価
院内緩和ケアチームを設置している医療機関数	21か所 〔H29(2017)年度〕	22か所 〔R4(2022)年度〕	増やす 〔R5(2023)年度〕	◎

4 がん治療を補完・充実する取組

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
<p>(1) セカンドオピニオン</p> <p>○適切なセカンドオピニオンが受けられる環境整備 (県、がん拠点病院等)</p>	⇒がん拠点病院等によるセカンドオピニオンの普及
<p>(2) がんのリハビリテーション</p> <p>○がんリハビリテーション医療機関の拡充 (がん拠点病院等、医療機関、介護事業所等)</p>	⇒がん拠点病院等によるがんリハビリテーションに関わる医療従事者への研修の実施
<p>(3) 在宅医療・介護サービス提供</p> <p>○在宅医療 (在宅緩和ケア)・介護サービス関係者に対する研修の実施 (再掲)</p>	⇒医療従事者や介護職員に対する研修を実施 (再掲)

<数値目標の状況>

- ・ **網掛け** は、前回協議会資料からの更新箇所
- ・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価
がんリハビリテーションの基本的技術取得を目的とした院内研修会を実施するがん拠点病院等の数	6か所 〔H29(2017)年度〕	3か所 〔R4(2022)年度〕	全ての拠点病院等 〔R5(2023)年度〕	△

5 がん登録の推進

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
○全国がん登録の推進 (国、県、市町、がん拠点病院等、医療機関)	⇒全国がん登録データベースの構築・整備 (国立がん研究センターへの委託)
○院内がん登録の推進 (がん拠点病院等)	⇒山口県がんサーベイランスセンターの運営 (山口大学への委託)
○がん登録実務者の養成 (県)	⇒全国がん登録業務に従事する医療機関職員を対象とした研修会の開催
○がん登録情報の活用 (県)	⇒院内がん登録データの精度向上のための実務者向け専門的技術研修の実施

<数値目標の状況>

- ・ **網掛け** は、前回協議会資料からの更新箇所
- ・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価
地域がん登録・全国がん登録の精度指標	DCN 8.9%	<u>DCI2.9%</u>	精度基準Aを維持	
	DCO 5.5%	<u>DCO1.7%</u>	DCN<20%	◎
	IM比 2.15	<u>IM比2.51</u>	DCO<10%	◎
※全国がん登録への移行に伴い、R元年度から精度指標がDCNからDCIに変更	(H25年罹患症例登録) [H28(2016)年度]	(R1年罹患症例登録) [R4(2022)年度]	IM比≥2.0 [R5(2023)年度]	◎
がん手術実施病院 (※) のうち、院内がん登録実施病院の割合 (※月1件以上、がん拠点病院等を除く)	41% [H28(2016)年度]	<u>63%</u> [R4(2022)年度]	70% [R5(2023)年度]	○

第4 がんにかかっても安心して暮らせる地域社会の構築

1 相談支援体制や情報提供体制の充実

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
○県がん総合相談窓口及びがん相談支援センターの周知・充実（県、がん拠点病院等）	⇒県がん総合相談窓口の設置・運営（県看護協会への委託）
○情報発信機能の強化（県、市町、医療機関等）	⇒各がん拠点病院等によるがん相談支援センターの設置・運営 ⇒相談員の国立がん研究センター専門研修への受講支援
○がん経験者による相談支援（県、患者団体等）	⇒ピアサポーター養成研修会の開催 [養成実績] 14人

<数値目標の状況>

・ **網掛け** は、前回協議会資料からの更新箇所
 ・ 評価欄 … ◎：達成、○：改善、●：維持、△：後退

指標	計画策定時	現状値	目標値	評価
がん相談支援センターの相談員のうち、「国立がん研究センター相談員基礎研修3課程」の修了者の割合	48% [H28(2016)年度]	73% [R4(2022)年度]	70% [R5(2023)年度]	◎
ピア・サポート研修の受講者数の増加	— [H28(2016)年度]	14人 [R4(2022)年度]	増やす [R5(2023)年度]	◎

2 就労を含めた社会的問題への対応

計画上の取組事項	実施した主な取組内容
○就労に関する相談支援体制の充実（県、がん拠点病院等）	⇒がん相談支援センターによる就労相談支援に加え、相談員の資質向上（スキルアップ研修の実施）
○治療と就労の両立支援の環境づくり（国、県、がん拠点病院等、医療機関、職域（事業主、産業医等））	⇒がん拠点病院等での社会保険労務士等による出張相談の実施 ⇒治療と就労の両立支援のための関係機関による連携強化（山口県地域両立支援推進チーム）
○アピアランスケアなどQOL向上への取組（県、がん拠点病院等相談支援センター、医療機関、患者会等）	⇒アピアランスケア用品（かつら、胸部補整具等）の購入費助成（R元年度～） [実績] 累計1,046件（R5.3時点） ⇒若年世代のがん患者の妊孕性（生殖機能）温存に係る治療費助成（R3～） [実績] 累計18件（R5.3時点）

<数値目標の進捗状況>

目標値を掲げている22指標45項目の現時点における進捗状況は次表のとおり

評価区分	内容	項目数
◎ 達成見込	目標値を達成する見込み	16項目 (35.6%)
○ 改善	計画策定時から値が改善	19項目 (42.2%)
● 維持	計画策定時から値の変動なし又は変動わずか	1項目 (2.2%)
△ 後退	計画策定時から値が後退	9項目 (20.0%)
合 計		45項目